

<第2回生科連 生物多様性シンポジウム>

気候変動が生物多様性に与える脅威 —地球はどのくらい危機的状況か—

環境省 箱根ビジターセンターよりオンライン配信

2021年12月18日(土) 13時~17時頃, オンライン(10分前より入室できます)

企画: 生科連地球生物プロジェクト委員会

後援: 日本学術会議

プログラム

13:00-13:10

はじめに: 小林武彦 (生科連代表)
(箱根ビジターセンターの方のインタビュー)

セッション1 13:10-14:10

座長: 古賀皓之 (日本進化学会)

講演1 気候変動と生物多様性—IPCC最新報告書等のご紹介 河村 玲央 (環境省)

講演2 長期モニタリングから見えてきた高山植生の変化 下野 綾子 (東邦大)

休憩 (10分)

14:20-14:40

高校生「生きものの“つぶやき”フォトコンテスト」優秀賞作品発表

総評 沼田英治 (日本時間生物学会)

14:40-15:40

座長: 小野教夫 (染色体学会)

講演3 環境DNA観測から生物多様性とその変化を捉える 近藤 倫生 (東北大)

講演4 環境変化による感染症発生 前田 健 (国立感染研)

休憩 (10分)

15:50-17:00

パネルディスカッション (70分)

「地球はどのくらい危機的状況か?気候変動が生物に与える影響について」

モデレーター: 宮下 直 (日本生態学会、個体群生態学会)

パネリスト:

矢動丸 琴子 (一般社団法人 Change Our Next Decade 代表理事)、石濱 史子 (国立環境研究所)、安田 仁奈 (宮崎大学・農学部)、河村 玲央、下野 綾子、近藤 倫生、前田 健、小林 武彦

おわりに: 松永 幸夫 (生科連副代表)